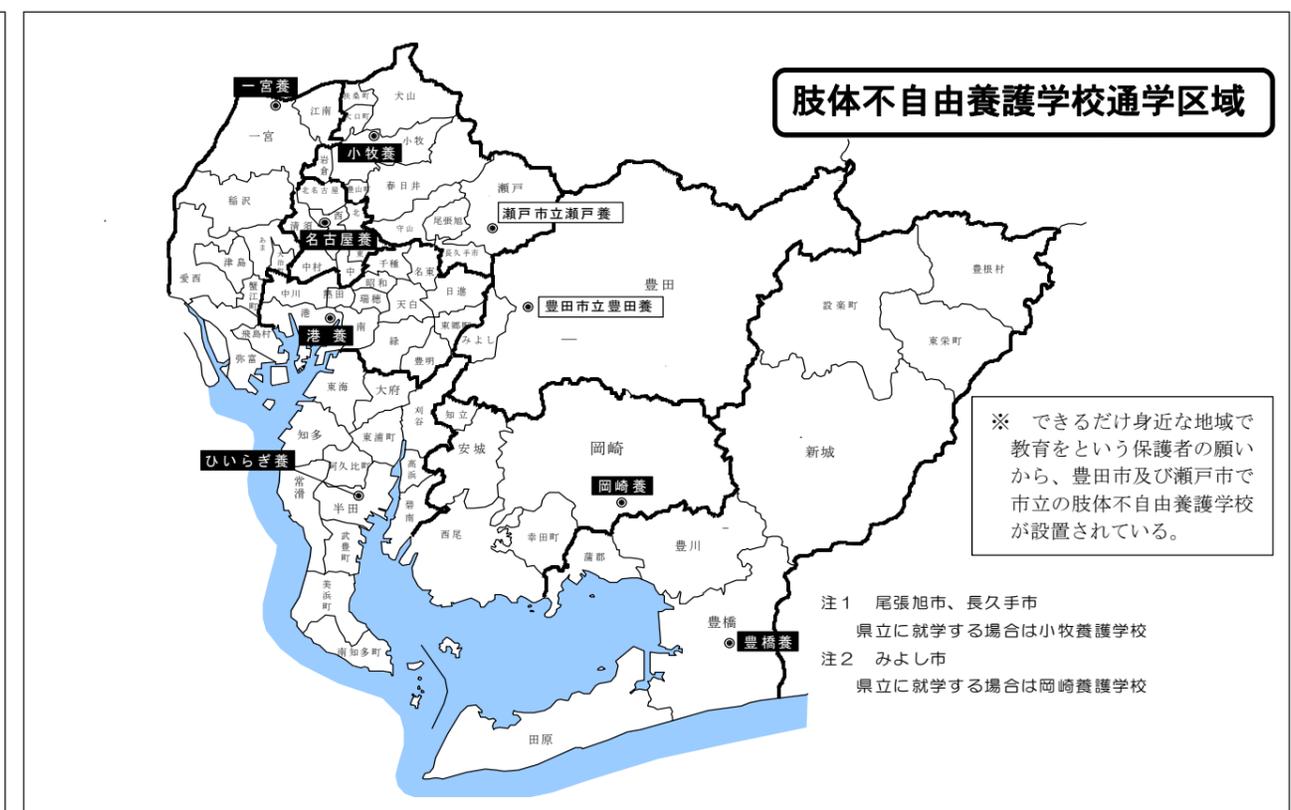


3 長時間通学

- 盲学校及び養護学校に在籍する児童生徒は、障害の状態や程度が多様であり、介助等に関わる保護者の負担が大きいことや、障害があるために公共交通機関を利用しにくいのが現状である。こうした障害のある児童生徒の通学の便を図るため、現在、盲学校及び養護学校にスクールバスを運行している。
- 知的障害養護学校については、通学児童生徒の約6割から8割の児童生徒がスクールバスを利用しているが、スクールバスの平均運行時間が約60分から70分と長時間になっている。
- 肢体不自由養護学校については、通学児童生徒の約2割から6割の児童生徒がスクールバスを利用しているが、スクールバスの平均運行時間が約80分から90分と長時間となっており、肢体不自由という障害の実態から身体面での影響が大きい。



◆ 県立知的障害養護学校スクールバス利用状況

学 校 名	みあい	一宮東	半田	春日台	豊川	安城	佐織	三好
バス利用者数 (人) ()は通学児童生徒数に占める割合(%)	121 (56.3)	351 (72.7)	300 (66.5)	302 (69.9)	361 (70.5)	267 (65.9)	269 (77.3)	304 (73.4)
バス台数 (台)	3	7	7	6	8	6	6	7
平均運行時間片道 (分)	57	73	65	65	70	63	70	59
通学60分以上(人) ()はバス利用者数に占める割合(%)	0 (-)	94 (26.8)	56 (18.7)	44 (14.6)	87 (24.1)	45 (16.9)	51 (19.0)	19 (6.3)

・スクールバスの長時間通学による児童生徒の体調面に影響がある。

◆ 県立肢体不自由養護学校スクールバス利用状況

学 校 名	名古屋	港	豊橋	岡崎	一宮	ひいらぎ	小牧
バス利用者数 (人) ()は通学児童生徒数に占める割合(%)	31 (17.8)	88 (43.8)	56 (39.7)	89 (62.2)	71 (44.7)	71 (52.6)	60 (61.2)
バス台数 (台)	3	4	3	4	4	3	4
平均運行時間片道 (分)	80	79	88	78	83	90	86
通学60分以上(人) ()はバス利用者数に占める割合(%)	10 (32.3)	42 (47.7)	17 (30.4)	33 (37.1)	21 (29.6)	43 (60.6)	15 (25.0)

・肢体不自由の児童生徒にとってスクールバスの長時間通学は、身体的に負担が大きい。